

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 高山市立東小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例: 小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 606-0802

岐阜県高山市松之木町 2962 番地 1

E-mail higashi.koumu@edu.city.takayama.gifu.jp

Website

http://www.city.takayama.lg.jp/kurashi/1000020/1000114/1000761/1000762.html

幼児児童生徒数 男子 221名 女子 203名 合計 424名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800 字程度 + 活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「ふるさと高山を愛する心を育てる」を活動テーマとして、ESD を「やさしさのあるまち高山市」を作る担い手を育てることと捉え、ESD の実践を通して誰もがお互い助け合い、幸せになることができる「共生社会」を作っていくという心と力を育成することを目標とした。

具体的には、総合的な学習を柱に、①郷土の歴史や文化に関わる学習、②郷土の自然に関わる学習、③郷土の福祉に関わる学習、④郷土の課題に関わる提案を行った。

① 郷土の歴史や文化に関わる学習

3 年生総合的な学習では、創立 145 年を迎えた自分たちの学校の歴史や校区の伝統的な行事等を調べる学習を行った。校区探検に出かけて見学や取材を行ったり、地域のお年寄りへの取材を行ったりして自分たちの住む校区の歴史や文化について知識を得た。また 6 年生の総合的な学習では、高山の名所、旧跡、伝統行事、伝統工芸、食文化等について個人テーマ追究を行い、調査したことをもとに観光パンフレットを作成して、修学旅行先で観光客に配布し、高山のよいところを紹介する活動を行った。

②郷土の自然に関わる学習

5年生の総合的な学習では、高山の自然について学習したり、体感したりすることを行った。高山の自然景勝地への自然観察会への参加や、乗鞍青少年交流の家での宿泊研修において、自然観察や自然体験活動を行った。また、校区のまちづくり協議会の協力を得て、外来植物の駆除作業への参加も行った。さらに、地球環境についての学習も取り入れ、自分たちができる環境問題への取り組みを考える活動をした。

③郷土の福祉に関わる学習

4年生の総合的な学習では、福祉協議会の協力のもと、高齢者や障がい者の方の特徴について、疑似体験を通して、自分たちとは違った大変さがあることを理解した。その上で聴覚障がいや視覚障がいのある方の話を聞いたり、高齢者施設への訪問や交流を行ったりした。社会には自分たちとは異なった多くの方が生活しており、その誰もが幸せに生きたいという願いをもっていることを知り、誰もが幸せに暮らせる町づくりをテーマに、共に生活していくために自分ができることを考える学習を行った。

④郷土の課題に関わる提案

高山市は、多くの観光客が国内外から訪れる観光都市である。高山祭の屋台行事が、ユネスコ無形文化遺産に登録もされた。しかし、人口の減少、高齢化社会、地場産業の衰退など、今日的、将来的な課題も多く抱えている。6年生の総合的な学習で、これらの課題を解決するための提案を考えて、6年間の総合的な学習のまとめとする活動を行った。児童それぞれが考えた提案は、市役所のブランド戦略課の方や、5年生への発表という形で行った。



①6年生が作成したパンフレット



②外来植物駆除の活動



③インスタントシニアの体験



④高山市の課題解決の提案

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

| | | | |
|--|--|---|-----------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境 | <input type="checkbox"/> 2. エネルギー | <input type="checkbox"/> 3. 防災 | <input type="checkbox"/> 4. 生物多様性 |
| <input type="checkbox"/> 5. 気候変動 | <input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性 | <input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産 | <input type="checkbox"/> 8. 人権・平和 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉 | <input type="checkbox"/> 10. 食育 | <input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費 | <input type="checkbox"/> 12. 貧困 |
| <input type="checkbox"/> 13. エコパーク | <input type="checkbox"/> 14. ジオパーク | <input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED) | |
| <input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等 | <input type="checkbox"/> 17. その他() | | |

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

| | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力 | <input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度 | <input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度 | |
| <input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入) | |

ウ. 活動時間（複数選択可）

| | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間 | <input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間 |
| <input type="checkbox"/> 3. 特別活動等 | <input type="checkbox"/> 4. クラブ活動 |
| <input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述) | |

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

| |
|-----------------------------|
| 飛驒の高山 3, 4年生 (高山市小学校社会科資料集) |
| 飛驒の高山 5, 6年生 (高山市小学校社会科資料集) |
| 高山市観光パンフレット |
| 金森史 |
| 高山市ホームページ |

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度） ※チェック事項1-2, 1-3に対応

全学年において、「ふるさと高山を愛する心」を育てるための教育活動を行っている。1・2年生は生活科の時間に、3～6年生は総合的な学習の時間に、郷土の文化や歴史を調べたり、郷土に生きる人とのつながりをもったりすることで、郷土高山を愛する心を育てている。

さらに、学校の全教育活動において郷土の素材を取り入れることをして、郷土教育を充実させている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項1-4に対応

総合的な学習を核として、郷土学習を進めている。学年ごとにテーマを設けて学習を進めていき、6年生で行う高山市の課題に対する提案を、郷土学習の集大成とする。6年間の学びがつながるような指導計画を作成している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項1-5に対応

各学年の年間指導計画の中に、活動のねらい、評価の観点を位置づける。さらに、活動のまとめりごとに、評価方法、評価規準を定めて評価を行う。評価方法については、行動観察による評価、制作物による評価、発表による評価を行ってきた。成果としては、自分たちの住む町高山の歴史や文化を知り、郷土高山を愛する心をもつ子が育っていることである。今年度の課題として、4年生、5年生で行っている活動を、より郷土に根ざしたものにするとよいことがあげられ、指導内容の変更を検討している。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項2-2に対応

1, 2年生は、地域の保育園の園児を学校へ招待して交流した。4年生は、地域の高齢者施設へ出かけて、奉仕作業や高齢者の方との交流や学習したことの発表を行った。6年生は、高山の観光パンフレットを作成し、修学旅行に出かけた京都・奈良で観光客に配布した。また、全ての学年が、1年間生活科や総合的な学習で学んだことを、下の学年に発表する活動を行った。地域の人たちとの交流を通して、本校の活動や児童への理解が得られた。また、6年生の観光パンフレットに対しての返信や、下の学年への発表を通して、自分たちの行ってきた学習や活動に、児童がやりがいを感じる事ができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

市役所の観光課・ブランド戦略課、教育委員会の高山市史編纂室、福祉協議会、校区のまちづくり協議会等の方による講話、校区にある高齢者施設や保育園等との交流を行った。

その他、地域講師として、祭、伝統工芸、飛騨の特産品に関係している方々とのつながりを形成している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

同じ校区の東山中学校や、同じ中学校区の岩滝小学校との交流を行っている。東山中学校とは、6年生が授業を見せてもらったり、合唱交流をしたりしている。岩滝小学校とは、授業を一緒に受けたり、合唱の交流を行ったりした。今後は、中学校が行っている総合的な学習の発表「郷土の未来を語る会」への参加等を考えている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

総合的な学習の年間指導計画の見直しを行い、1年生から6年生までの6年間を通して、郷土高山を愛する心を育む内容を、発達段階に応じて、広がりや深まりのあるものへと改良を行った。

3～6年生の指導内容に、郷土の偉人の功績を学ぶ時間を位置づけたこと、6年間の学習のまとめとして、高山市の今日的課題に対する提案を位置づけたことで、児童の意識の中に、ふるさと高山を愛する気持ちが以前に増して強くなった。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

- 総合的な学習の年間指導計画の確立。
- 郷土の偉人(広瀬武夫、中村久子、金森長近、牧野英一、牧野良三、守洞春、篠原無然、本郷村の善九郎)についての学習。
- 各学年の活動
 - 3年生・・・校区探検、護国神社戦争資料館見学
 - 4年生・・・市内中心部の町の様子見学、高齢者施設訪問
 - 5年生・・・高山の文化、自然、伝統工芸についての調査活動
 - 6年生・・・高山の歴史、個人テーマの調査活動
高山のパンフレットの作成と配布
高山市の課題解決のための提案
- 地域への発信活動 6年生が行う高山市の課題解決の提案を発表する場に、市役所や地域の方を招いて聞いてもらう。